

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ヒトツナ日本橋馬喰町教室		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 24日		2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 6人
○従業者評価実施期間	2026年 2月 14日		2026年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○具体的な改善策を実施し始めていること。	○保護者の相談窓口の設置、上級救命講習受講、研修の受講、InstagramやSNSの更新等、改善策を打ち出して実施している。	○保護者からの頂いた声をもとに課題を整理し事業計画を作成し、実施していく。
2	○職員各自が情報共有をするように日々心掛けてのこと。	○業務日誌などで、情報の共有には意識的に取り組んでいる。 ○先の課題について職員から議題として挙げた時に、毎週木曜日の午前を調整してミーティングの時間に設定をすること。	○ミーティングの時間を確保して振り返りを行っていく。
3	○相談支援事業所や関係機関との連携について、重要性を感じていること。	○事業所のある中央区をはじめ、近接する区の相談支援事業所及び行政系の窓口へ訪問し、パンフレット等をお渡ししている。	○相談支援事業所との連携を強化していく ○保護者の方のご了解を得た上で、小学校への訪問。引継ぎ等を行っていく。 ○必要であれば訪問をしていく旨を保護者にお伝えしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○HUGと送迎時に保護者とお話している現状があるが、更に交流を進めていく。	○HUGのみで保護者の方との交流を進めている状況があり、HUGでの活動の様子を伝える。 保護者の情報発信が弱い。 ○SNSの実施等を含めて実施が遅れたこと。	○HUGの保護者のご連絡の部分をより伝わりやすく内容を工夫する。 ○SNSやInstagramについては、基本毎日更新する形で開始をした。
2	○支援プログラムの周知については契約時に更に丁寧にやっていく。	○ヒトツナ全体の支援プログラムについて契約面談の時に、ご説明が十分でないこと。 ○専門性の向上について、研修に参加しているが、その進捗の情報を発信できていないこと	○契約面談の質をあげる。 ○研修の参加を継続的にしていくことと、その進捗などを広報で発信していくことで、課題に対応をする。
3	○保護者の方との交流の機会をより増やしていきたい。	○保護者の方と交流する機会が少ないこと。○支援の質を	○日頃、交流ツールであるHUGのやり取りの質を上げる。 ○自治体、学会、本部の研修を受講することで支援の質をあげていく。 ○研修受講の報告なども何らかの形で保護者の方にご報告する。 ○振り返りやケースカンファレンスの時間を設定し、SVが行える体制を整えていく。